

## 3M™ 漏水センサーPS-1R/PS-2 取扱説明書

漏水センサーをご使用になる前に、本書を必ずお読み下さい。

### <使用上の注意>

- ・センサーを漏水検知以外の目的で使用しないで下さい。
- ・多量の結露が発生する場所への布設は避けて下さい。
- ・有害ガスや振動の発生する場所には設置しないで下さい。
- ・使用前に「漏水検知システム解説書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ・本センサーは、当社製漏水検知器の特性に合わせて設計されています。他社製漏水検知器と組み合わせて使用するときには、漏水検知器メーカーに確認の上、センサー布設後に必ず動作確認を行って下さい。

### 1. 漏水センサーの固定（布設）について

漏水センサーは、下面が布設面に密着するように、スリーエム ジャパン製SS-1ステッカー等の固定具でコードを固定して、布設してください。（図1）なお、センサーを布設する際は次の点にご留意ください。

- ・センサー布設面は、埃やごみ等を除去し、出来るだけきれいにしてください。
- ・センサーは布設面が平らで凹凸がなく、水が溜まり易い場所に布設してください。
- ・センサー布設の際にセンサー下面（電極がある側）が設置面から浮いていたり、裏返しにならないようにしてください。（図2）
- ・コンクリートの素肌面は、水を吸収します。単位時間当たりの漏水量が吸収量より少ない時は、漏水が検知できませんので、防水処理をおすすめします。
- ・設置面がコンクリート等で固定具が付きにくいときは、接着剤を併用してください。するときは、合成ゴム、合成樹脂系の接着剤を使用してください。なお、酢酸ビニル系接着剤（コンクリート用ボンドなど）は使用しないでください。酢酸ビニル系接着剤は吸湿性のため、誤報の原因となることがあります。
- ・検知器1台（1回路）に対して、並列に結線することで複数のセンサーが使用できます。（図3）PS-1Rの場合は3個まで、PS-2の場合は4個までのご使用として下さい。



図1 センサーの布設



図2 悪い布設例

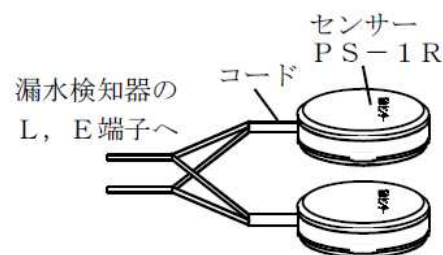


図3 並列接続

### 2. センサーコードと検知器間のジャンパー線による配線について

- ・ジャンパー線（検知器とセンサーをつなぐ線）を使用する場合は、センサーのコードを含めて1検知器当たり150m以内でご使用下さい。
- ・外部電磁誘導を受け易いところでは、ジャンパー線はシールドタイプのものをご使用下さい。
- ・センサーのコードは電力線等の強電回路電線と一緒に束ねないで、出来るだけ（10cm以上）離してください。

### 3. 検知器の断線検知機能の設定について

PS-1Rは、断線検知用の終端抵抗が内蔵しており、検知器のセンサー断線検知機能に対応します。PS-2は、断線検知用の終端抵抗を内蔵してませんので、断線検知機能のある検知器に接続する場合は、断線検知機能を停止してご利用下さい。(断線検知機能を停止設定しないで状態でPS-2を検知器に接続すると、断線警報が出ますのでご注意下さい)

### 4. 動作テストについて

実際にセンサーに水をかけて、漏水検知動作が正常に行われるかどうかを確認して下さい。なお、誤報の原因になりますので、確認後は水分を完全に除去してください。

### 5. 保守について

センサー布設後は、1年に1回以上の頻度で、4項の動作テストを行って下さい。特に重要な監視場所では、頻度を多くして機能確認を行って下さい。

注：定期的に保守・点検を行わなわないと、万一検知器を含めた漏水検知システムに不具合が生じたときに漏水を検知できず、設備等に重大な損害を及ぼすことがあります。

## スリーエム ジャパン株式会社

通信・電力マーケット事業部

<http://www.mmm.co.jp/electro/>

カスタマーコールセンター

製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-012-321**

ナビダイヤル<sup>®</sup>市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間／8:45～17:15 月～金(土・日・祝・年末年始は除く)